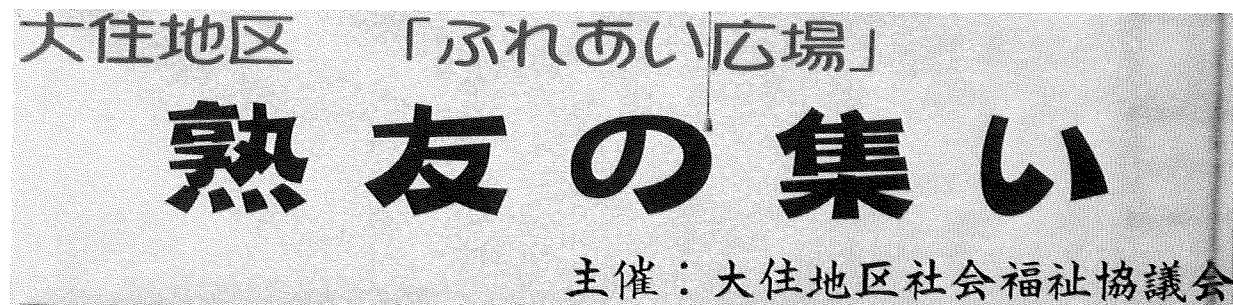


ふれあい広場 開催

平成23年度最後の事業として、24年1月20日 仁井田落見町と仁井田瀧中町を中心に一人暮らしのご高齢者を対象にふれあい広場「熟友の集い」を開催しました。

この事業は、冬の寒い時期に多い一人暮らしの閉籠りを防止とした目的で実施しております。当日は、今冬では珍しく小春日和となり、参加したご高齢者も笑顔を浮かべながら会場へ入り、梅邑会長の挨拶や事務局よりふれあい広場の趣旨を説明し、昼食を挟んで会話やカラオケなどに花を咲かせ、楽しく一時を過ごして頂きました。ご協力頂いたご町内会に感謝申し上げます。



編集後記

東日本大震災から一年、一日も早く復旧・復興を祈念する毎日であるが、一向に進まないのが現状の様相を辿っている。また、世間では一人暮らしや一人暮らしの高齢者などが尊い命を失っていることが数多く報道されている現在、地域住民が一体となって一人暮らし高齢者を見守ることが肝要である。そのためには、地域の全町内から「福祉協力員」の選出が不可欠である。

大住社協だより

平成24年3月28日 No.25

題字：秋田県社会福祉協議会会長 佐々木満 筆

秋田市大住地区社会福祉協議会発行



地域の福祉事業が見直しされます

大住地区社会福祉協議会

会長 梅邑 供治

皆様には、日々お健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年3月に発生した東日本大震災では、大住地区の皆様から災害見舞金をいただきましたこと誠にありがたく心より感謝申し上げます。

災害から1年が過ぎようとしていますが、なかなか復興が進まないような気がしております。私たちも皆様と共に被災地の隣県人として末永く支援してまいりたいと考えております。

大住社会福祉協議会では地域に根ざした活動として、今年度も敬老会やふれあい集会、地域サロン、子育て支援講座、福祉懇談会等を開催しました。各事業には多くの方にご参加いただき、好評のうちに無事終了することができました。これからも誰もが住み慣れた地域で健康で生き甲斐のある生活ができるように、地域サロン事業の充実に取り組んでまいりたいと考えておりますので、多くの皆様の参加をお待ち申し上げます。

さて、平成24年度から敬老会を見直すことにしましたので、お知らせします。

今年度までは、敬老対象者の調査を民生委員の皆様をお願いしておりましたが、秋田市から個人情報保護法についての指導がありました。今後は、各町内会のご協力を得て回覧でお知らせをしますので、皆様からは敬老対象者であることを自己申告していただくこととなります。

また、秋田市からの補助金が減額となったことから、記念品等の検討もしなければならぬと考えているところであります。

敬老会は参加者はもちろんのことではありますが、地域が一体となって開催するものです。今年度は会場設営のために80人の地域の方がかけつけてくださいました。各団体や太陽幼稚園、大住小学校、日本舞踊藤間一寿綾社中の皆様からのご支援もいただいております。諸事情により見直しをすることになり、ご面倒をおかけしますがご理解、ご協力をお願いいたします。

最後に、皆様にとって幸多き年でありますようにご祈念申し上げます。



大住地区敬老会 挙行

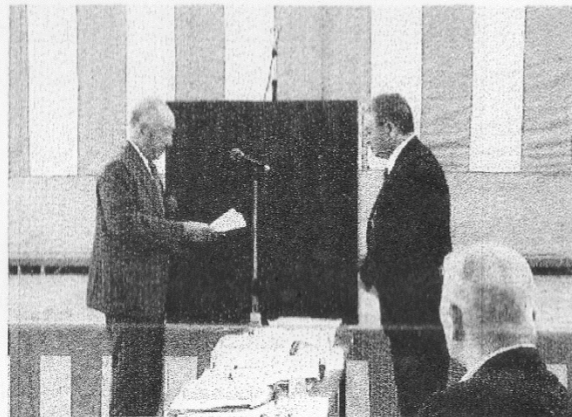
祝敬老会 主催、大住地区社会福祉協議会



秋田市長お祝のことは



主催者梅邑会長挨拶



謝辞：武藤様



大住小児童による遊戯



太陽幼稚園児による遊戯



藤間一寿綾社中 日舞

安心キット(無料配布)



昨年は大住地区において、158名の一人暮らしのご高齢者に配布しました。ご好評により更なる希望をお受け致します。大住社協にご相談下さい。

平成23年度大住地区社会福祉協議会 事業概要

月日	主要事業	備考
4/23	理事会	レストハウス井畑
4/30	評議員会	大住コミセン
5月	日赤社費強化月間	
6/21・22	秋田市社協研修会出席	会長・事務局長
8/6	福祉協力員研修	
7月~9月	秋田市社協全戸会員募集	
9/19	敬老会	大住コミセン
10月~12月	赤い羽根募金運動	
10/28	ふれあい集会	ザ・ブーン
12月	歳末助けあい運動	
12/1	福祉懇談会	大住小
12/2	子育て支援講座	大住小
1/20	ふれあい広場	仁井田潟中町内会館
3/28	大住社協だより発行	

平成23年度 大住地区社会福祉協議会役員名簿

(平成23年4月~平成25年3月)

職名	氏名	住所	住所備考
1 会長	梅邑 供治		
2 副会長	佐藤 要		
3 "	高橋 征一		
4 常任理事	高橋 重道		
5 "	平野 貢則		
6 "	小松 友子		
7 "	森 加寿美		
8 "	小木田美喜子		
9 "	真坂 芳明		
10 "	門脇 利成		
11 "	鈴木 裕子		
12 監事	伊藤 富雄		
13 "	中村 一六		
14 理事	渡辺 新		
15 "	高橋 功		
16 "	進藤 征喜		
17 "	長谷部三夫		
18 "	保坂 正勝		
19 "	川越 政美		
20 "	榎 勝子		
21 "	今野 惲二		
22 "	藤原 勉		
23 "	嶋田 秀子		
24 "	佐藤 憲子		
25 "	皆川 勝美		
26 "	戸嶋 元美		
27 "	相川 弘子		
28 "	塚田 朋子		

平成23年度 各種募金等収納一覧表

平成24年3月10日現在
大住地区社会福祉協議会

No.	町内会名/区分	日赤社費	全戸会費	敬老会	赤い羽根	歳末助合	東日本義援金
1	庚塚東	1,000	3,240	1,000	900	900	9,000
2	庚塚			2,900		2,800	16,415
3	いな穂	1,000	9,720	2,700	2,700	1,300	5,400
4	牛島西2丁目本町	4,000	14,400	4,000	20,000	5,000	
5	庚塚南	24,000	30,240	8,500	30,100	8,600	17,800
6	牛島西第一	10,500	48,600	10,000	7,000		10,000
7	稗田南	45,500	70,560	19,000	25,000	10,000	15,000
8	庚塚西新町		19,440	5,400	21,600	2,700	
9	おたかの橋	3,000	64,800	18,000	39,900	10,000	36,000
10	三皇竹原	7,000	59,400	16,500	10,000	5,000	40,000
11	牛島西4丁目	103,100	104,400	28,000	155,000	15,000	50,000
12	牛島東湯敷	4,000	72,000	24,000	36,000	12,000	50,000
13	牛島東湯敷南	11,790	42,840	11,900	20,000	10,000	23,800
14	大住南	32,000	45,000	18,000	37,000	6,000	
15	大住北	22,000	26,000	14,000	45,000	5,000	
16	大住団地						
17	大住中央通	10,000	25,200	16,500	30,000	20,000	50,000
18	大住	31,800	39,240	17,000	53,770		35,000
19	露見幸町	21,500	18,720	5,200	26,000	2,600	30,000
20	仁井田潟中新町	6,500	37,080	10,300	30,900	5,000	
21	仁井田潟中町	3,000	25,200	10,000	15,000	5,000	15,000
22	仁井田露見町	3,000	36,000	12,000	60,000	6,500	
23	仁井田緑町						
24	仁井田西湯敷	5,500	3,240	11,100	15,000		22,000
25	みなみ野	3,000	51,000	28,400	56,800	14,200	30,000
26	西湯敷北町	3,400	12,240	3,400	3,400	3,400	6,800
27	第2みなみ野	2,000	36,000	10,000	15,000	12,500	50,000
	小計	358,390	894,560	307,800	766,070	163,500	512,215
28	学校関係				41,684		
29	個人・商店・企業				84,388	4,000	
	小計				126,072	4,000	
	合計	358,390	894,560	307,800	882,142	167,500	512,215

備考：東日本大震災義援金については、別扱いの報道機関等に寄託した町内もあります。

ふれあい集会



旭川ダム散策
紅葉にウツリ



ふれあい集会に参加して

大住新町町内会 長谷川 正 二

今年もふれあい集会の案内があり参加させて頂きました。

この集会は、私にとって今回で2回目の参加になりますが、昨年参加し、同じ高齢者同志で心を開いて話し合いながらお酒を飲み、歌を唄い、踊りながら皆さんと盛り上がり、楽しかったことが忘れられず今年も参加させて頂きました。

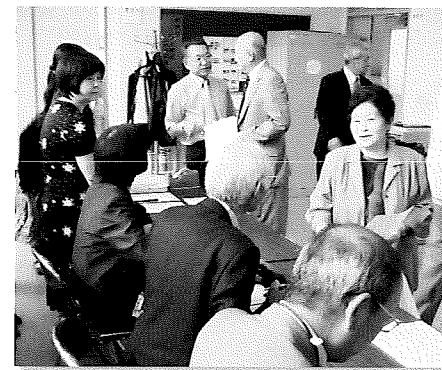
旭川ダムの紅葉を楽しみ、ザブーンでゆっくりお風呂に入り、梅邑会長さんの挨拶のなかで、「この集会は毎年続けて行います」とのご挨拶があり大変力強く感じました。

宴会では、昨年と同じく酒を酌み交わしながら同じ境遇者同志で心を開き、お話しさせてもらい、大変楽しく過ごしました。

この集会の開催にあたり、大住地区社会福祉協議会の皆様や地域の民生委員の皆様、そして、今回の企画にあられたスタッフの皆様には大変お世話になりました。

来年も又楽しみにしておりますので、よろしくお祈りします。

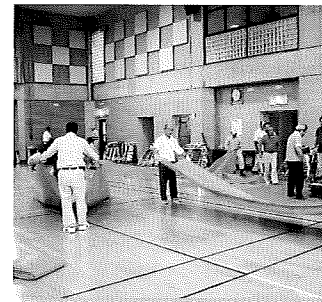
ありがとうございました。



受付風景



「青い山脈」 全員合唱



会場設営状況



祝宴風景

敬老会に参加して

牛島西四丁目 松葉会 武藤 慎 吾

平成23年度の大住地区社会福祉協議会主催の、敬老会に出席させていただきました。ありがとうございました。

大住社協だよりに寄稿の依頼をいただいたので、敬老会に出席して、思いついた雑感を書かせてもらいます。

当日、大住コミセンの体育館が一杯になる位、多数の出席者でした。厳粛な式典が始まり、盛大に賑々しく敬老の宴を催して下さいました。

感謝感激をしながら、楽しい一時を過ごさせていただきました。この気持は私だけではないと思いますが、大住社協の皆様を始め、各団体の皆様の御協力と御好意に心より感謝の意を申し上げます。御都合により残念にも出席出来ない方々も多かったと思いましたが、今回の楽しさを皆で、わかちあいたいものだと感じました。

老人大国とも云われている社会の超高齢化が急テンポで進行し、ますます長寿社会になって行きますと、老人達には肩身の狭い時代が到来すると思いますが今現在は、地域の各種団体の皆さんの誠心誠意な努力のお陰で、安全で安心して住める地域に、本当に頭の下る思いです。

年を重ねる事は誰もが避けて通れない道だと思っはいますが、いつの間にか私も78才になりました。お陰様で体は動きますので、地域の役に立つものは何でもやって見ようかと思っています。自分の趣味を活かして、これからも、他人に迷惑をかけないように生きて行きたいと思っています。

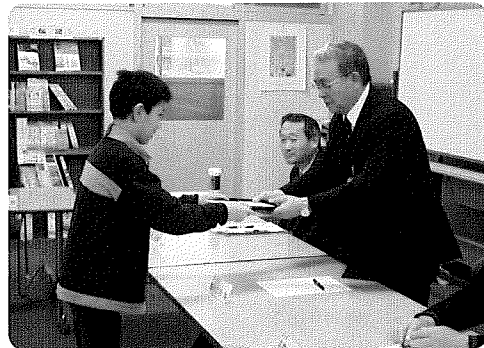
福祉懇談会開催

平成23年12月1日
於：大住小図書室

ボランティア委員の活動発表



懇談風景



記念品の贈呈

地域福祉活動の一環として大住小学校ボランティア委員の皆さんと福祉について懇談を行った。ボランティア委員2名の司会で始まり社協からの社会福祉制度や大住地区社協の事業内容を紹介し、ボランティア委員からは委員各部からの活動状況発表などがあり有意義な会議となりました。

お礼として、ボランティア委員にはノートを、学校には図書券を贈呈しました。次にボランティア委員2名のご感想を紹介します。

「ボランティア」を通して感じた事 6年 高橋 美羽
私は、ボランティア委員になり、「思いやり」と「つながり」の大切さを改めて知りました。赤い羽根共同募金運動では、地域をよりよく快適な場所へするため活動しました。たくさんの人達が募金してくれたので、みんなが他の人の役に立ちたいと思っていることを感じました。十一月にあったなごみ訪問では、たくさんの人との交流する事、つながりがある事の大切さを知りました。なごみのみなさんは、私たちがリーダーや歌を歌ったりするこの小さな一つ一つに喜んでくれました。折り紙やトランプなどで楽しんでいる所を見ていると私もうれしくなりました。これからも、たくさんの方の役に立てるよう活動したいです。また、人とのつながりを大切に行動していきたいです。

社会福祉協議会の方々と交流して 6年 豊田 梨奈
私は、大住地区社会福祉懇談会に参加して、福祉協議会の方々が様々な活動を行っていることを初めて知りました。そのお話の中で、「安心キット」を無料で提供していることが心に残りました。「安心キット」とは、一人暮らしの老人の医療情報を保管しているものだそうです。「安心キット」を高齢者の方が持っているのなら、もしものことがあった時に安心だと思いました。冷感庫に入れておき、救急隊員にいち早く医療情報を知らせることが出来るそうです。その他にも、「ふれあい集会」や「敬老会」を行っているそうです。私たちハッピーボランティア委員会でも、高齢者との交流や募金活動、牛乳パック、プルタブ、ペットボトルキャップの回収を行って地域の皆さんのためにがんばっています。もっとがんばっていききたいなあと思いました。

子育て支援講座

平成23年12月2日大住小図書室において、育ちざかりの子を持つ、1・2年生の保護者を対象として、管理栄養士 佐々木三津子先生を講師にお迎えし「運動と食事」について講話を頂いた。当日は、1・2年生の授業参観日とあって短時間の講話となりましたが、特に1日の野菜の摂取量には興味を持たれたようで真剣に聴講しており、多くの質問が殺到し、好評のうちに終了しました。



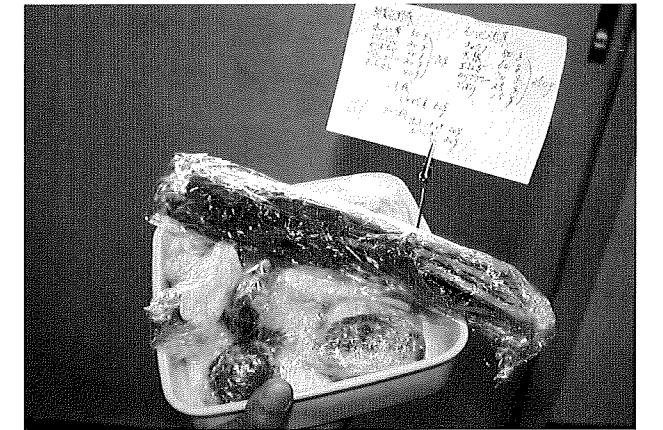
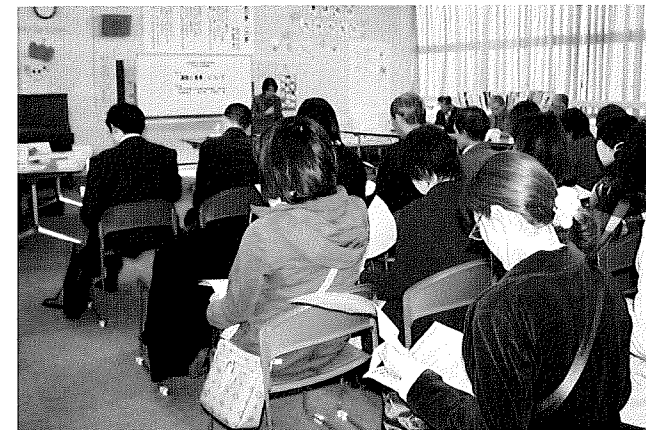
「子育て支援講座」に参加して

1年 池田 真由子

毎日の忙しい中での子育て、中でも私達主婦にとって食事は悩みの一つでもあります。特に育ち盛りの子供に十分な栄養を摂取させられているか疑問に思う毎日です。

そんな中、地域主催のこのような子供の“食”に関する講座に参加することができ、食事について見直すこと、新しく学ぶことができ、すごく勉強になりました。

子育ては各家庭の問題の様に感じていましたが、このように地域の支えがあるということは心強く感じます。また、このような機会がありましたら、積極的に参加したいと思います。



1日の野菜の摂取量